

東海大学付属大阪仰星高等学校・中等部

生徒・保護者のみなさんへのメッセージ



2020年4月28日正門より

中等部 教務主任 菊池 聡

みなさん、学習への取り組み状況はいかがでしょうでしょうか？ また、保護者の皆様には多大なご協力をいただくこととなり、感謝申し上げます。中学生としてやり場のない気持ちをコントロールすることは大変難しいことだと思えますが、ニュースや新聞を読んだりして、色々なことを知って欲しいと思います。

「生きるということは知ることだ」という人もいます。映画などをじっくり観ることもいいでしょう。普段クラブ活動で忙しく余裕のない生活の中で、この期間をチャンスにできるように前向きに頑張ってもらいたいと思います。学習の中でわからないところは遠慮せず、ロイノートで先生に質問してください（すぐに返ってきますよ）。

また、クラブでは様々な大会が中止になってきていますが、感染症が終息すれば新たな大会を創設することも考えられるでしょう。

今は自粛要請に協力して、次の活躍の場に備える努力をしましょう。

中等部 生徒指導主任 渡井 照雅

みなさん、いかがお過ごしですか。今は家にいること、我慢することで必ず以前のような日常が戻ってきます。そのための、次の3点に注意して生活してください

①規則正しい生活

②適度な運動

③新しいことへのチャレンジ（新しいスポーツに挑戦、小学校と中学校の違いなどを、考える。）
学校が再開して、以前のように何も変わらず学校生活が始めるように、一日一日を頑張りましょう。

中等部 第1学年主任 成瀬 竜也

中等部1年生のみなさん、お元気にお過ごしでしょうか。

中学校生活のスタートがこの様な形になりましたが、世界状況から見れば今は我慢の時であり、人生の中でこの様な経験はほとんどないと思います。学校へ行けないからとマイナスに捉えるのではなく、これを自分の為のチャンスと考えて自分で考えて計画実施が出来るようになりましょう！体調には充分気を付けて、規則正しい生活を送りましょう！！

中等部 第2学年主任 山崎 智代

皆さんいかがお過ごしですか。この期間それぞれの生活習慣が定着し、充実した毎日を送る人もいれば、何も手につかない人もいます。昨年度から学び始めたSDGsですが、「より良い世界にするために何ができるか考えてみよう」という問いかけをしています。今は「自分の生活を幸せなものにするにはどうしたらよいか」ということを考えてみてください。思考から実行へ！行動は習慣を作ります。休校明けに「これをやった」と堂々と言えるものを一つでも持って登校して来てください。皆さんと共有できることを楽しみにしています。

中等部 第3学年主任 渡井 照雅

皆さんは今、どのように日々を過ごしていますか？元気で過ごしていますか。

新型コロナウイルスの収束については未だ先行きが見通せない状況にあり、皆さんも日々不安を抱えていると思います。これまで当たり前と思っていた日常の大切さを感じることもあることでしょう。学校で友だちと過ごす1日1日が皆さんにとってとても貴重な時間のはずなのに、その時間も、目標に向けて一生懸命に打ち込む時間も、今は耐え忍ぶしかない我慢のときです。

しかし、このような状況だからこそ、この期間をマイナスではなく前向きに捉え、今しかできないことを実行する大きなチャンスにしてほしいと思います。誰もが経験したことのないこの時間に何を考えて何をするのか？1人1人の姿勢が問われます。3年生として自分が望む進路についてじっくり向き合い、そのために今どのように行動するのがいいのか、ということを考える時間を作ることは必要です。そのための時間が今、与えられているのではないのでしょうか。

日常が戻り、皆さんの元気な顔が見られることを楽しみにしています。がんばりましょう！

高校 教務主任 阿部 守勝

若かりし頃、青年海外協力隊に参加し2年間アフリカの子供たちに数学を教えてきました。語学と任国事情について学び、体力作りをする日々を経て赴任します。アフリカと言えば風土病の温床で、感染すると治療法がなく死に至る病もあるため、赴任前には何種類もの予防接種、野口英世が発見した黄熱病も含まれていました、を受けます。しかしそれ以上に時間をかけて教育されたことは、感染経路を知り、万一感染した場合に適切に対処できる判断力・行動力を身につけることでした。

新型コロナウイルス感染症に関するニュースの中で“正しく怖がる”という表現を聞きますが、置かれた状況や様々な情報を正しく理解し、適切な行動に結びつけることを伝えようとしているのでしょうか。

現在世界中が大きな不安に包まれ制約がある中で生活が続きますが、人生が途切れるわけではありません。だからこそ、一人一人がこの試練をどう乗り越えるかが試されているのだと思います。ここまでの生活を振り返り、可能な限りできる備えをしましょう。元気に再会できる日を楽しみにしています！

高校 進路指導主任 檜山 聡

現在、立命館アジア太平洋大学の学長をされている出口治明（でぐちはるあき）さんは「人生を豊かにする」ためには「人と接すること」「本と接すること」「旅をすること」を推奨されています。でも、今は「人と接する」と「旅をすること」は無理ですね。「本と接する」は大丈夫ですが。しかし、敢えて「こんな時」だからこそ「じっくり勉強すること」に時間を割いて下さい。特に英語。単語や熟語覚えることが多い教科です。しかし「こんな時だからこそ」できる教科です。こんなチャンスはありません。さて、覚えた英語を試すのに映画はどうでしょうか？私なりのお薦めを紹介します。

『3 Idiots (きつと、うまくいく)』『チョコレートドーナツ』『ゲットアウト』。時間があれば是非！

高校 生徒指導主任 沢田 和久

こんにちは！生徒指導部主任の沢田和久（さわだかずひさ）と申します。どうぞ宜しくお願いします。

さて、新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令され、登校ができない状況が現在も続いております。ですが、いつか必ず学校再開の日が来ます。その時に備え、ご家庭では規則正しい生活の維持に是非つとめていただきたいと思います。早寝早起き、学習、散歩や軽い運動、そしてネットの時間をある程度計画し、それに基づいた行動を取ってほしいと考えています。待ちに待った学校再開の時を一瞬も無駄にしないためにも、真剣に取り組んでください。

そして、学校再開に関して不安を感じている生徒・保護者の方々もいらっしゃると思います。友達ができるのか、自分はこの学校でやっていけるのか、等々の思いがあることも考えられます。それにつきましては、本校の教職員一同、誠心誠意その不安を一蹴すべく取り組むこととお約束致します。是非安心していただき、学校再開の際には元気に登校していただきたいと思います。我々は、その日を今か今かと心待ちに楽しみにしております。その日まで、「STAY HOME」で頑張りましょう。

高校 第1学年主任 池田 英樹

こんにちは。緊急事態宣言が発令されて3週間ほどが経過しました。皆さんは中学校を卒業されたばかりで、希望を持って仰星高校に入学して頂いた中、ほとんど登校できていない日々が続き、もどかしい思いを抱えておられると思います。昨今の日本の状況では、教育活動が再開できずに、部活動の最後の大会まで中止に追い込まれるという事態も発生しています。大変な思いをしている高校生も多い中で、本校の生徒である皆さんも例外ではありません。しかし、私は今後の皆さんの学校生活を思うと、希望を見出せる部分も多いと考えています。皆さんにはまだ3年間という時間が残されています。休校が明けた暁には、勉強に励み、部活動に励み、友達と、先生と、保護者と夢を語り合える時間が残されています。

その時間を有意義なものとし、充実した学校生活を送るために、今は我慢するしかありません。幸い本校では、iPadを活用し、担任とのやり取りや各教科での学習補填が出来る状況にあります。私ども教員としては、生徒の皆さんの前で授業をし、わからないところを教えたり、3年後の夢を語り合いたいという気持ちを抑え、生徒の皆さんの学習支援に励んでいます。今、一人ひとりの出来ることは、政府の要請に従い家にいることです。その苦難を乗り越えたときに、輝かしい学校生活が待っているという希望を胸に、今の苦難を全員で乗り越えたいと思います。休校が明けた際には、全力で皆さんの学校生活をサポートしていきますので、一人ひとりが目の前の、今出来ることに精一杯向き合い、規則正しい生活を送ってください。そして、学校に登校できる状況になったとき、お互いが笑顔で学校生活をスタートできるように頑張ってください。

高校 第2学年主任 高橋 小百合

こんにちは。コロナが長引いていますが、いかがお過ごしでしょうか。体調を崩されたりしていませんか。昼夜逆転している人はいませんか。早寝早起きに努めましょう。

さて、学習への取り組みはいかがですか。担任の先生への早朝挨拶や各教科の課題、頑張っていますね。未提出の人はいつも同じ人のようで心配しています。高校2年生の頑張りがこれからの進路の方向づけに大きく影響します。しっかり取り組みましょう！またこの機会を最大限に生かし、読書や家事のお手伝い、進路についてじっくり話し合うなど、いい時間にしてください。皆さんの明るさでぜひ家族も楽しませてください！頑張りましょう！

早く収束して皆さんと学校生活を送れることを楽しみにしています！

高校 第3学年主任 加納 尚子

最終学年の、大事な大事な時期に、こんな苦境に遭うとは。楽しみだった研修旅行。三年間の努力を实らせ、輝くはずだった大会。かけがえのない数々の機会が、こんな風に失われるなんて、想像もできませんでした。生徒のみんなや、保護者の方々のお気持ちを思うと、正直なんと言葉を送ってよいか、わからないです。

このどうしようもなさを、どうしたら良いのか。生徒のみんなも、保護者の皆さんも、高3に関わる先生たちも、思いは同じだと思います。そんな中でせめて思うのは、後ろではなく前を向きたい、ということ です。

今何ができるか、自分に何が必要なのか。今それぞれの場所で、考えていると思います。そして考えるしかないとも思います。ピンチをチャンスに出来るかどうか。思考した人と、思考停止した人とでは、今後大きく差が開くはず です。

何があろうと、それでも人生は続く。だから、36期生のみんな、考えよう。失った以上のものを、みんなでつかもう。

保護者の皆様方には、ご心配はいかばかりかと思ひます。不安ばかりの中、こんな時だからこそ、皆様と同じ気持ちで尽力したいと考えております。行き届かない点もあるかと思ひますが、共に生徒たちに寄り添えるよう、今後とも宜しくお願ひいたします。



2020年4月28日ハナミズキもきれいに咲いています

教職員一同、みなさんの帰りを待っています！